

事務事業名	県単農道整備事業				担当	建設部 建設課 道路建設係		
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			増補版施策名			
施策名	4	道路ネットワークの整備			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰越（開始年度 昭和50年度～）		
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1.農業費	8.農道費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	この事業は、道路を整備することにより、農村部における安全で円滑な交通網を確保するための改良等を行う事業である。 ・整備の基準は、一路線の延長は100m以上、幅員3m以上の新設又は改良及び歩道の新設。 ・県からの補助率は30%である。 ・平成17年度から、道路管理の一元化方針により、建設課で農道整備も担当し、市内の全ての道路の一体的ネットワークの整備に努めている。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 ・事業計画の認可申請 補助金交付申請 工事着手 工事完了 完了実績 報告 完成確認検査(県) 補助金額の決定 ・施工箇所 高田、飯貝地内 31年度計画 ・30年度同様 ・施工予定箇所 高田、堀込地内	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称 単位 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(見込)								
ア 整備延長	m 1,014 895 1,216 595 1,180								
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・農村部における未改良、未舗装道路及び道路利用者（市民）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称 単位 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(見込)								
ア 未舗装市道延長	km 44.6 41.1 37.8 34.1 32.2								
	イ 未改良市道延長								
	ウ 道路利用者（市民）								
	エ								
	オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・農村部における安全で円滑な交通の確保	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称 単位 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(見込)								
ア 整備済み延長（累計）	m 4,677 5,572 6,788 7,383 8,563								
	イ 市道舗装率								
	ウ 市道改良率								
	エ								
	オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・道路ネットワークの整備	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称 単位 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(見込)								
ア 道路の整備状況が良いと感じている市民の割合									
イ									
ウ									
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	7,830	9,660	14,250	7,980	19,020
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	18,516	23,163	33,606	18,928	45,380
	事業費計(A)			千円	26,346	32,823	47,856	26,908	64,400
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	90	120	200	200	120	
		人件費計(B)	千円	377	498	830	834	500	
	トータルコスト(A)+(B)			千円	26,723	33,321	48,686	27,742	64,900
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・農村部における未整備道路の改良を目的として事業を開始した。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・農村生活環境の整備に成果をあげている。								
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・地域から早期の農道整備を望まれている。								

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・狭隘な道路を解消し、安全で円滑な交通を確保することは道路ネットワークの整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・不特定多数の人が利用する道路を、安全で円滑な交通を確保できるよう市が整備することは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・農業者が官農用道路として利用するとともに、地域住民が生活道路にも利用する道路について、安全で円滑な交通の確保を図ることから対象と意図は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・計画通り順次整備しており向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・廃止・休止した場合、道路利用者及び地域住民は通行に危険である狭隘な道路を利用しなければならない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・事業費の削減により、道路ネットワークの整備推進に遅れがでる。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・県補助金交付申請等から監督業務まで必要最小限の人員で行っている。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・道路は、不特定多数の人が利用するものであり公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							